

第1章
調査計画の概要

1. 農泊地域先進事例調査の目的

新型コロナウイルス感染症の影響により、県内農泊実践地域への来訪者数は減少し、現在も新型コロナウイルス感染症拡大前の水準までの回復には至っていない。

一方で、都市住民においては、田園回帰志向の高まりや、都心に比べ感染リスクが低い農山漁村地域への旅行ニーズの高まり等、農泊の需要拡大の可能性が見込まれており、また、新型コロナウイルス感染症が拡大する状況下でも楽しめるオンラインツアーの実施等、都市部や海外と地方をつなぐ「新たな観光スタイル」が生まれている。

本業務では、新型コロナウイルス感染症により変化した旅行や地方への移住定住等のニーズや誘客手法等を調査・分析し、「熊本県の農泊」の魅力をさらに磨き上げ、県内の農泊実践地域への来訪者数等の向上を図る。

2. 調査計画

(1) 訪問調査の手法

調査にあたっては、農泊事業組織の代表者等へのインタビューと動画撮影を行う。また、その際は宿泊も行い、農泊の宿泊環境や受入家庭の様子、あるいは来訪している観光客などの反応なども取材する。

(2) 調査対象地域の選定

新型コロナウイルス感染症の影響下にある現状で、農泊地域においても活動を休止している地域や域外からの来訪を受け入れない地域がある状況を認識した上で、調査対象地域を九州内に限定し、地域の取材受入意向を確認のうえ、下記4箇所を選定した。

- ◎くらたび臼杵（大分県臼杵市）
- ◎NPO 法人安心院町グリーンツーリズム研究会（大分県宇佐市安心院町）
- ◎合同会社渡海屋（福岡県宗像市大島）
- ◎株式会社 JTB 福岡支店 教育旅行センター（福岡県福岡市）

(3) 訪問調査の日程

- ◎くらたび臼杵（大分県臼杵市）
令和3年（2021年）12月8日（水）～9日（木）
- ◎NPO 法人安心院町グリーンツーリズム研究会（大分県宇佐市安心院町）
令和3年（2021年）12月5日（日）～6日（月）
- ◎合同会社渡海屋（福岡県宗像市大島）
令和3年（2021年）11月28日（日）～29日（月）
- ◎株式会社 JTB 福岡支店 教育旅行センター（福岡県福岡市）
令和3年（2021年）11月29日（月）

3. 調査実施機関

受託者 株式会社熊本日日新聞社
訪問取材担当 株式会社エアーズ